

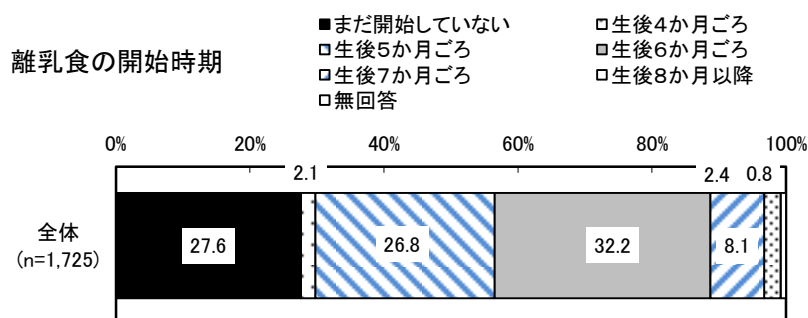
京都市母子保健に関する意識調査【平成 25 年】（抜粋）

調査対象者：保健センター・支所における乳幼児健康診査(4 か月児・8 か月児・1 歳 6 ヶ月児・3 歳児)に来所した保護者 4,332 人(有効回収数 1,725 人)

8 食生活について

(1) 離乳食の開始時（問 2 6）

離乳食を開始する時期は、「生後6か月ごろ」の割合が最も高く、「生後5か月ごろ」と合わせると 59.0%です。

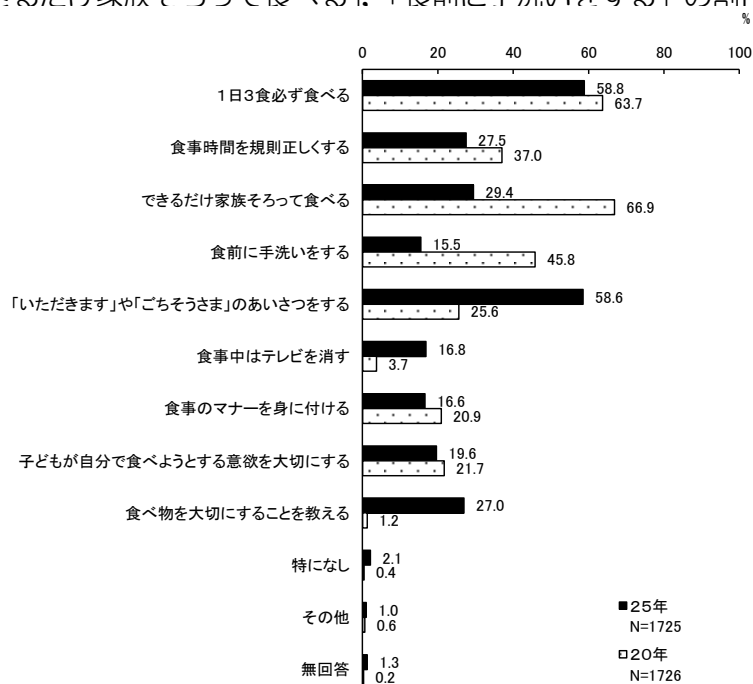


(2) 家族の食生活で気をつけていること（問 2 7）

「1日3食必ず食べる」、「いただきます」や「ごちそうさま」のあいさつをする」の割合が高くなっています。

平成 20 年調査と比較して、「いただきます」や「ごちそうさま」のあいさつをする」、「食事中はテレビを消す」、「食べ物を大切にすることを教える」の割合は増加しています。

一方、「できるだけ家族そろって食べる」、「食前に手洗いをする」の割合は大幅に減少しています。

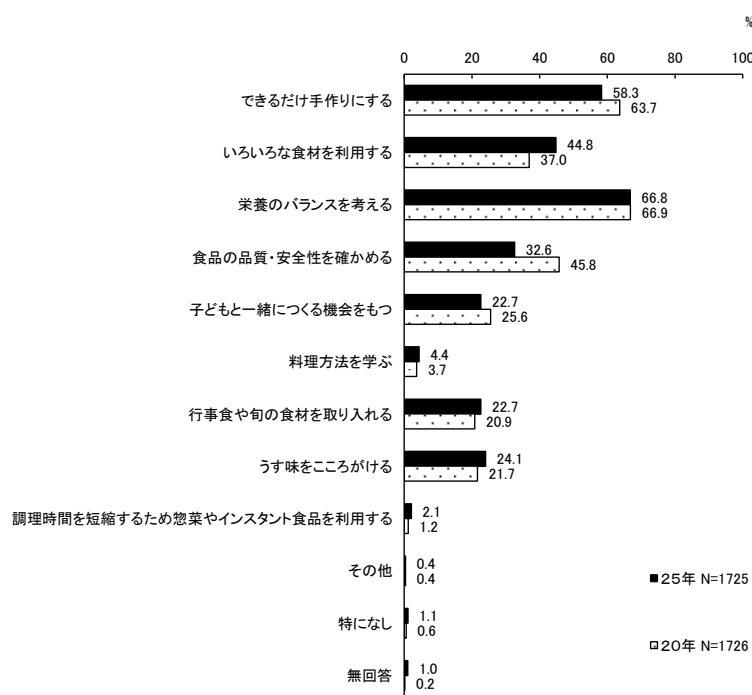


（３）家族の食事作りで、工夫したり、これからしようと思うこと（問２８）

「栄養のバランスを考える」の割合が最も高く、次いで「できるだけ手作りにする」の割合が高くなっています。

平成 20 年調査と比較して、「栄養のバランスを考える」の割合はほぼ同じですが、「いろいろな食材を利用する」、「行事食や旬の食材を取り入れる」、「うす味をこころがける」の割合が増加しています。

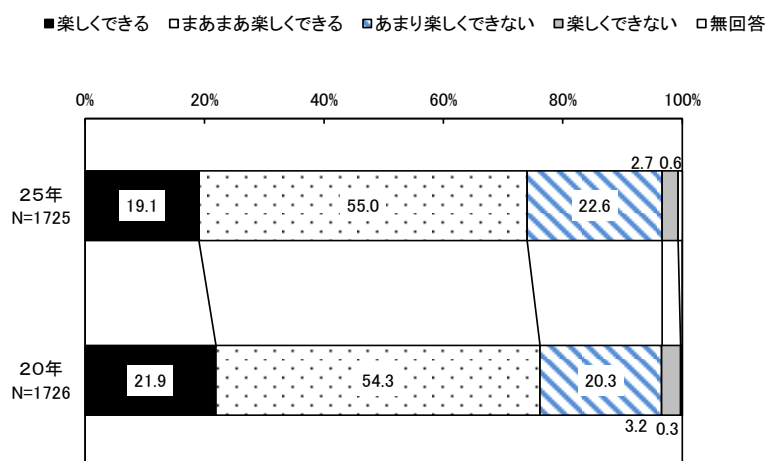
一方で、「できるだけ手作りにする」、「食品の品質・安全性を確かめる」、「子どもと一緒につくる機会をもつ」の割合は減少しています。



（４）食事作りが楽しくできるか（問２９）

「楽しくできる」、「まあまあ楽しくできる」の割合は 74.1%となっており、平成 20 年調査の 76.2%と比較してやや減少しています。

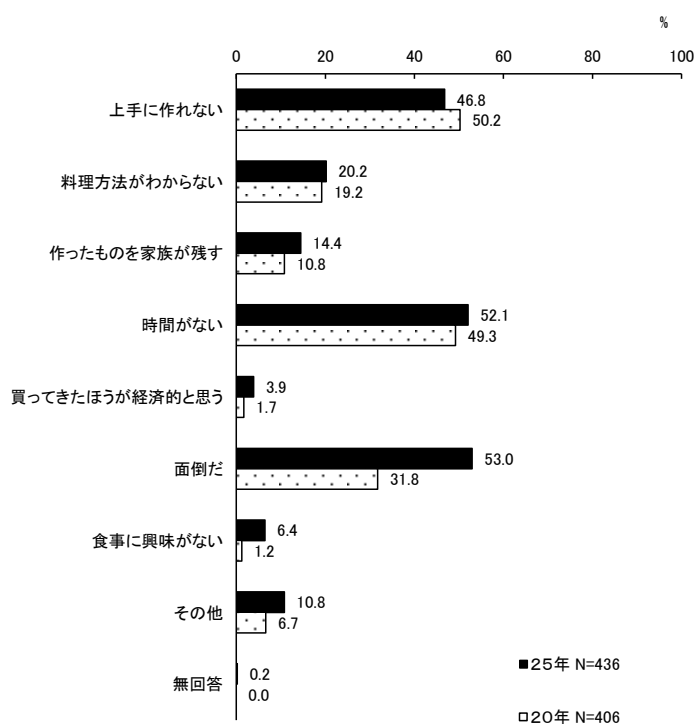
一方で、「あまり楽しくできない」、「楽しくできない」の割合は、23.5%から 25.3%とやや増加しています。



（５）食事づくりが楽しくできない理由（補問２９－２）

「面倒だ」、「時間がない」、「上手に作れない」の順で割合が高くなっています。

特に、「面倒だ」の割合は 53.0%であり、平成 20 年調査の 31.8%と比較して大幅に増加しています。

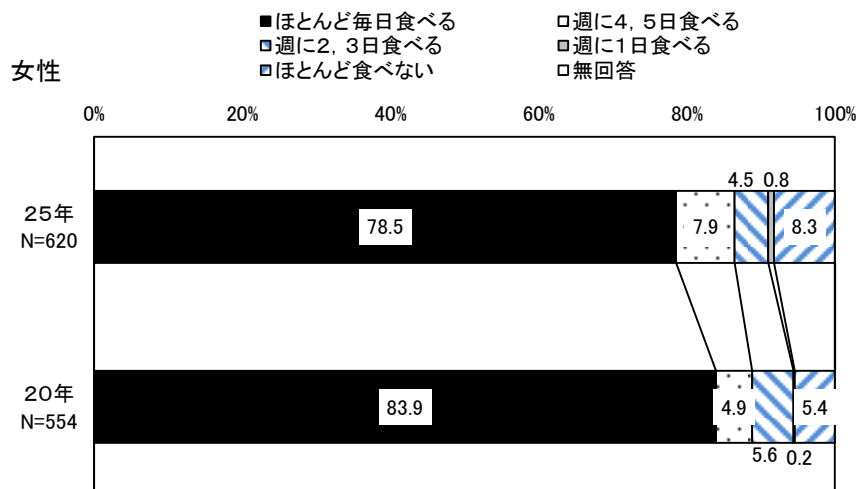
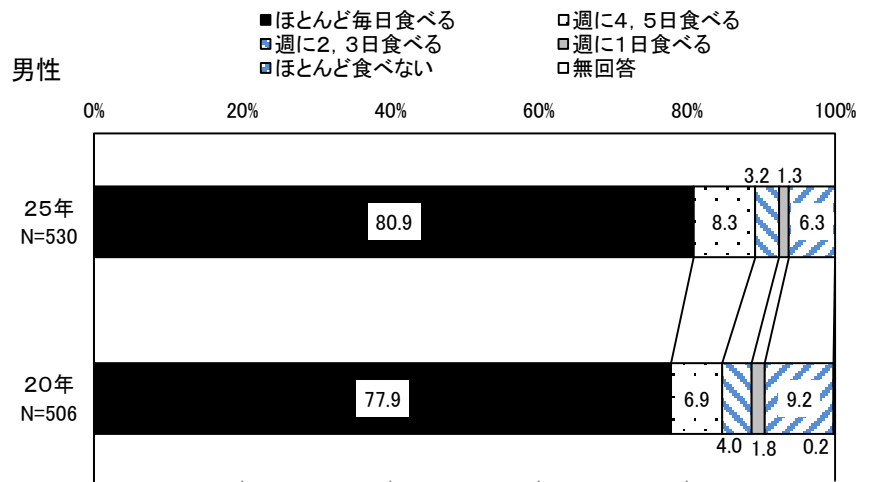


京都市思春期に関する意識調査【平成25年】抜粋

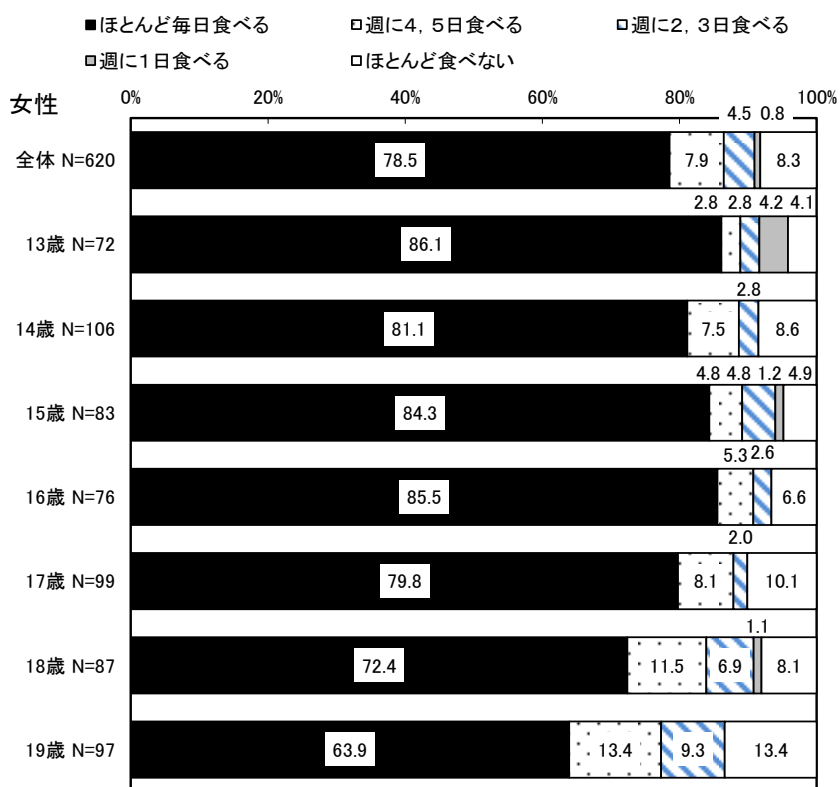
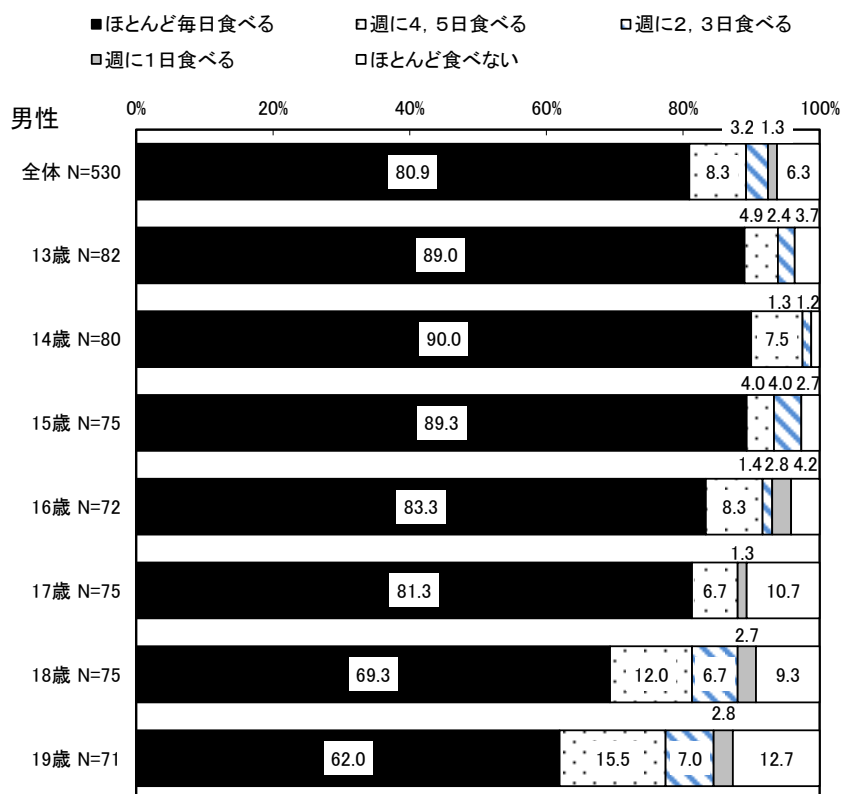
調査対象者：13歳以上19歳以下 5,000人（有効回収数1,150人）

問8 ふだん朝食を食べますか。

全体では、朝食を「ほとんど毎日食べる」割合は、男性の80.9%、女性の78.5%であり、平成20年調査の男性77.9%、女性83.9%と比較して、男性が増加し、女性が減少しています。

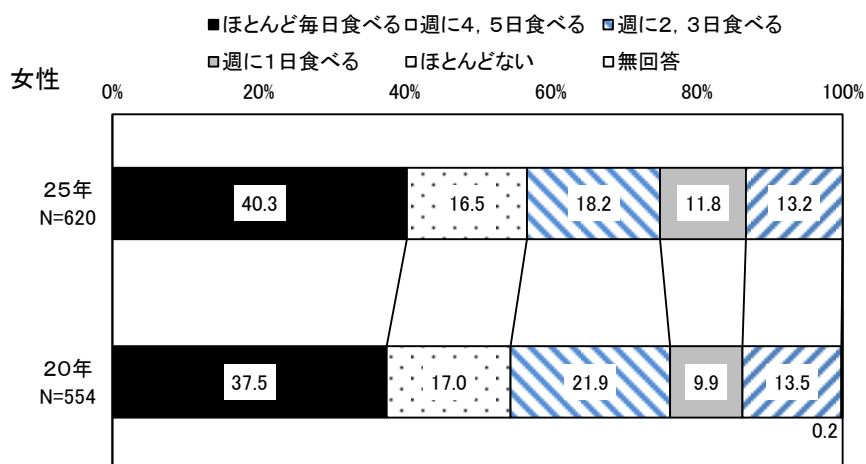
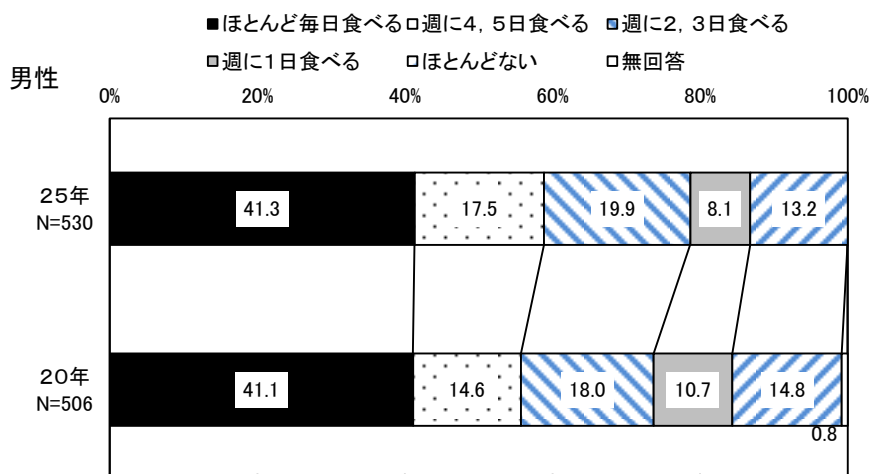


年齢別でみると、男女共に年齢があがるにつれて、「ほとんど毎日食べる」の割合が減少し、「ほとんど食べない」の割合が増加する傾向にあります。

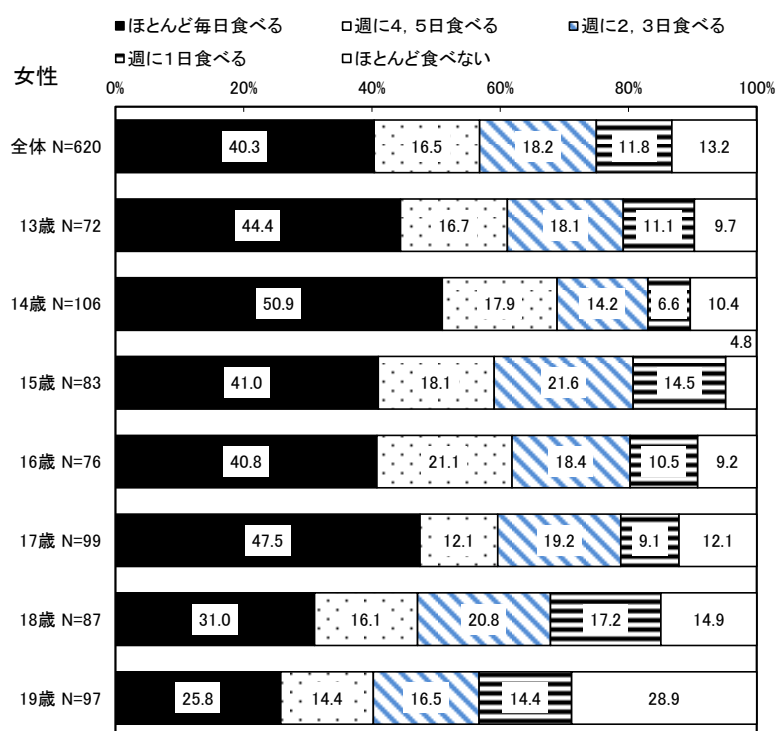
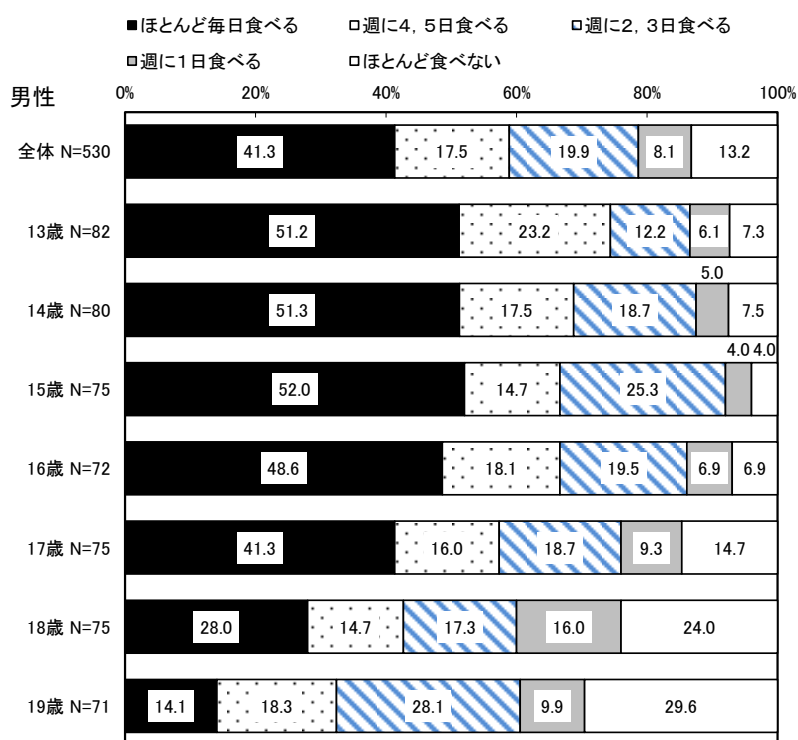


問9 ふだん家族そろって食事をするのがどのくらいありますか。

「ほとんど毎日家族そろって食事をしている」の割合は、男性の41.3%、女性の40.3%であり、平成20年調査の男性41.1%、女性37.5%と比較して増加しています。



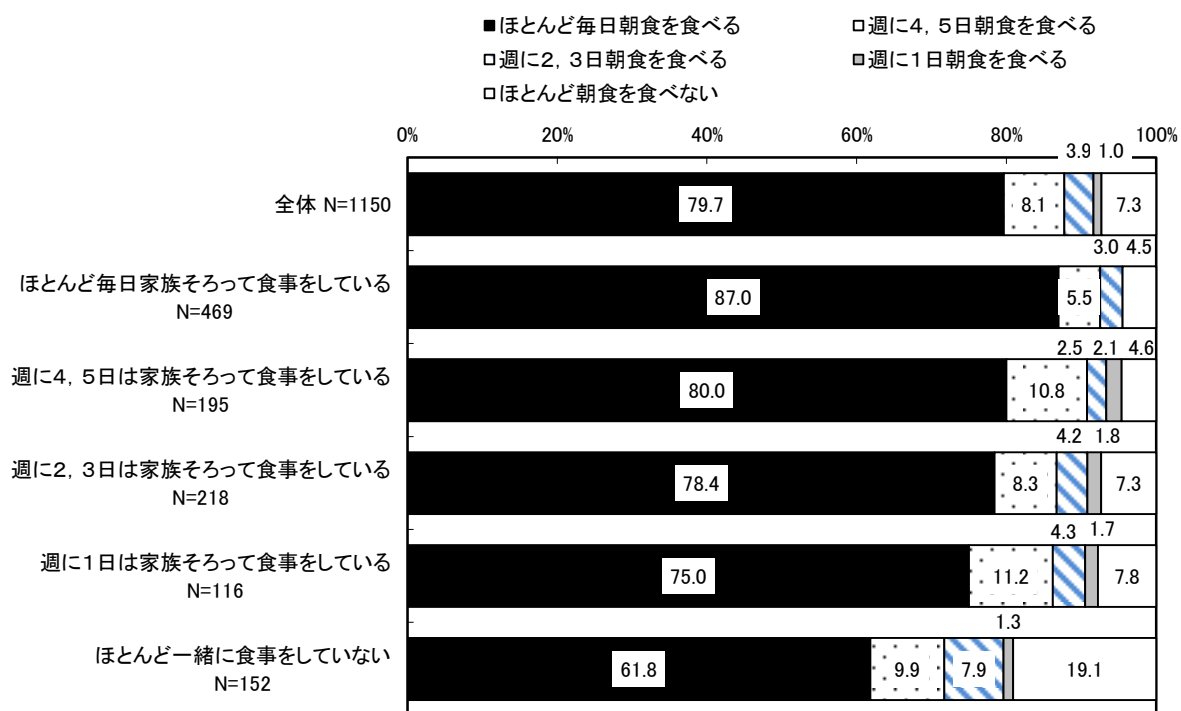
年齢別でみると、男女共に 17 歳以降、年齢があがるにつれて、家族そろっての食事を「ほとんどしない」割合が増加する傾向にあります。



<朝食の摂取（問8）と家族そろっての食事（問9）の関係>

「ほとんど毎日家族そろって食事をしている」者は、その他の者と比較して、「ほとんど毎日朝食を食べる」の割合が高くなっています。

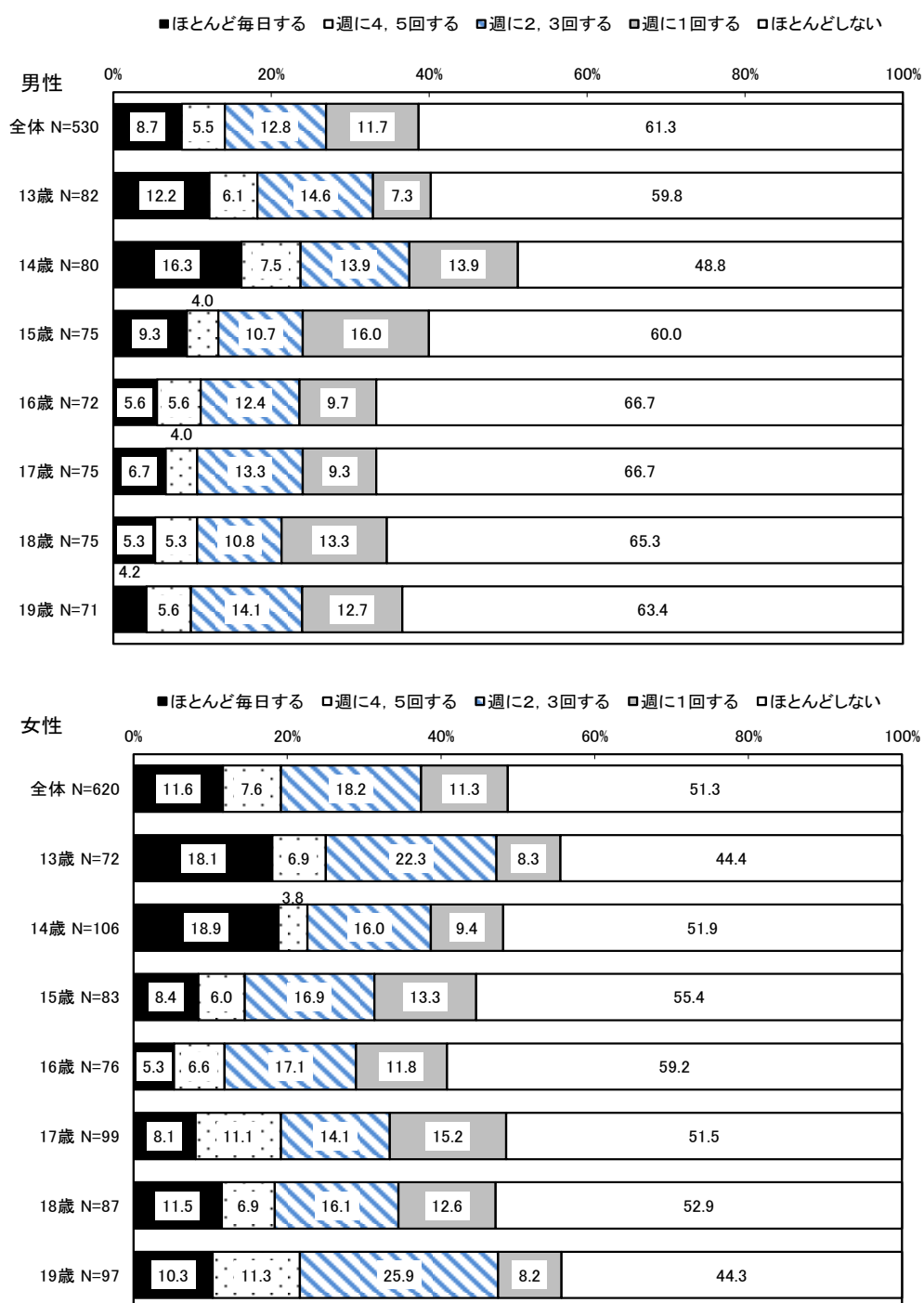
「ほとんど一緒に食事をしていない」者は、その他の者と比較して、「ほとんど朝食を食べない」の割合が高くなっています。



問10 自分や家族のために食事を作ったり手伝いをしますか。

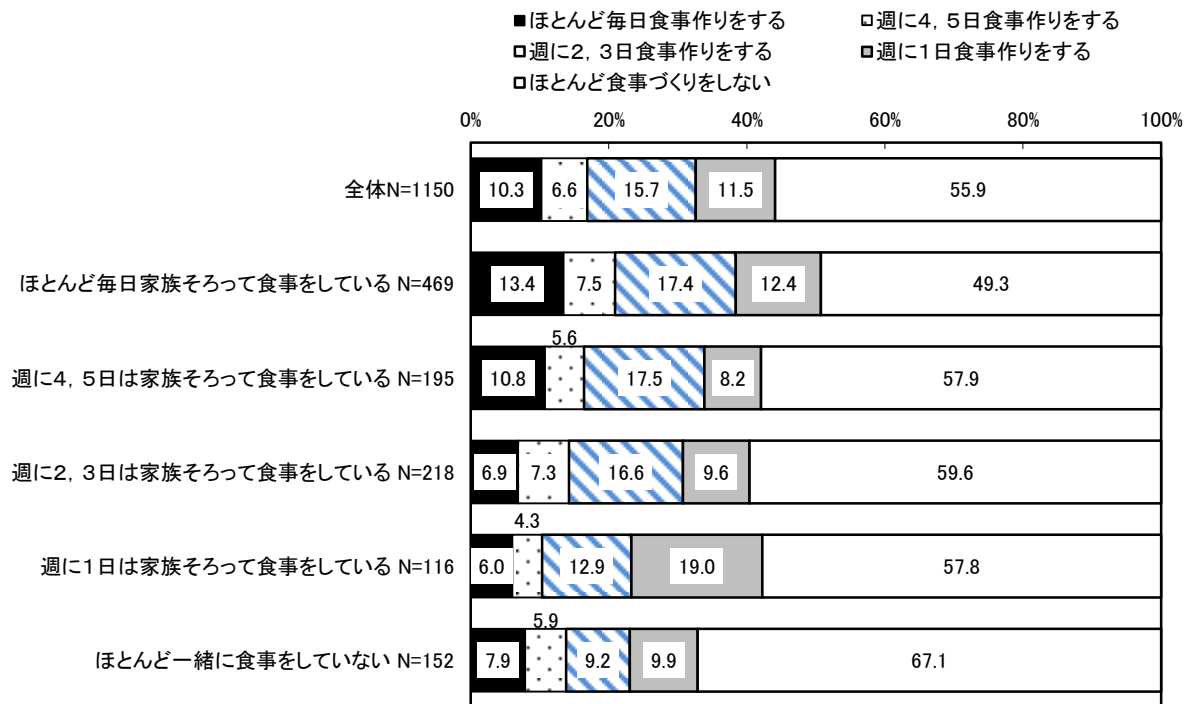
全体では、自分や家族のための食事作りや手伝いを「ほとんどしない」の割合は、男性の61.3%、女性の51.3%であり、最も高くなっています。

「ほとんど毎日する」、「週に4、5回する」の割合は、男女共に13歳、14歳で高くなっていますが、男性では、15歳からその割合が減少する傾向がみられています。



<家族そろっての食事（問9）と自分や家族のための食事作り・手伝い（問10）の関係>

「ほとんど毎日家族そろって食事をしている」者は、その他の者と比較して、自分や家族のために「ほとんど毎日食事作りをする」の割合が高く、「ほとんど食事づくりをしない」の割合が低くなっています。



問11 あなたのふだんの食生活についてあてはまるものをすべて選んでください。

全体では、「ほとんど家庭で食べている」が72.4%、「食事は、ほぼ決まった時間に食べている」が64.2%、「楽しく食事をしている」が63.5%と高くなっています。

「間食をすることが多い」、「食品添加物や食品の安全性が気になる」は平成20年調査と比較して、大幅に減少し、「衛生面に気を付けている」割合が大幅に増加しています。

